

西之表市多世代交流施設基本設計業務委託に係る受託候補者の決定について(報告)

MARU。architecture+Dai建築DESIGN設計共同企業体による企画提案書の抜粋

1. 施設コンセプト

特定テーマ① 施設コンセプト

西之表をつなぐ「縁」

まち・ひと・森とつながる多世代の居場所



実施方針1 目的や課題の理解度

開かれた「縁」が、まち・人・森をつなぐ

西之表は日本武家社会最南端の地として知られ、敷地はまさに種子島の歴史と文化の中心であった内城跡です。この場所が多世代の拠り所となり、豊かな暮らしを後世へと共に受け継いでいくことが望めます。私たちは、多世代交流施設を「縁」のような場としてつくります。「縁」とは、内外の中間領域で、誰でも気軽に訪れ、時には一人静かに、時に語らいながら過ごすことができる開かれた空間です。開かれた「縁」によって、新たな出会いや交流、まち・人・森とのつながりを生み出します。



開かれた「縁」空間



まちとつながる

この場所に折り重なっている歴史と文化を大切に、周辺の建築や文化的施設と敷地を超えて連携しながら、点から面で魅力を発信し、まちづくりの拠点とします。さらに、中心市街地の活性化に留まらず、大字地域も含めた西之表市全体の活性化へと導きます。

人とつながる

こどもから大人、高齢者、障がいのある方など、全ての方の居場所となり、多様な関わり方を許容し、人と人の関係を育む場所にします。市民はもちろん、訪れる人に魅力を放ち、遠く離れて暮らす人でも、主体的に関わることが出来る仕組みをつくります。

森とつながる

麓集落の「屋根森」に代表される緑が連続する歴史的景観を再評価及び継承します。また、先代が植えた森の木材を可能な限り活用することで、自然の循環の中に人の営みを今一度組み込み、建築プロセスを通して森の恩恵を後世へと伝えていけるよう努めます。

特定テーマ① 施設コンセプト

屋根森に抱かれ、ゆるやかに場を囲む3つの棟

地形を活かした麓集落の建ち方を継承する
風や日差しを防ぐ屋根森に、低い軒を寄せて建つ種子島の伝統的な空間構成を継承します。南西棟を屋根森に寄せて配置し、北棟と東棟で強い季節風から守られた広場を囲みます。建築と地形と外構が一体となって開かれた居場所を守る、この土地ならではの原風景をつくります。



3つの棟を囲いだ多様なつながりを生む
「縁」のような空間により、棟を横断した開かれた関係をつくります。

- 地域情報の顔をつくり「まちとつながる」**
鉄砲館に近く、まちの情報ステーションとして、郷土資料、市民展示など西之表の魅力を一望できる。
- ゆるやかに広場を囲み「人とつながる」**
各棟は開かれた居場所となり、庭と一体となって交流を生み、多世代が共に過ごせる場となります。
- 屋根森に囲まれた居場所で「森とつながる」**
屋根森に守られた開架を中心とした場。静かな席から活動の場まで、西之表の原風景を背景に展開する。



開かれた軒下空間と多世代の居場所に囲まれた広場

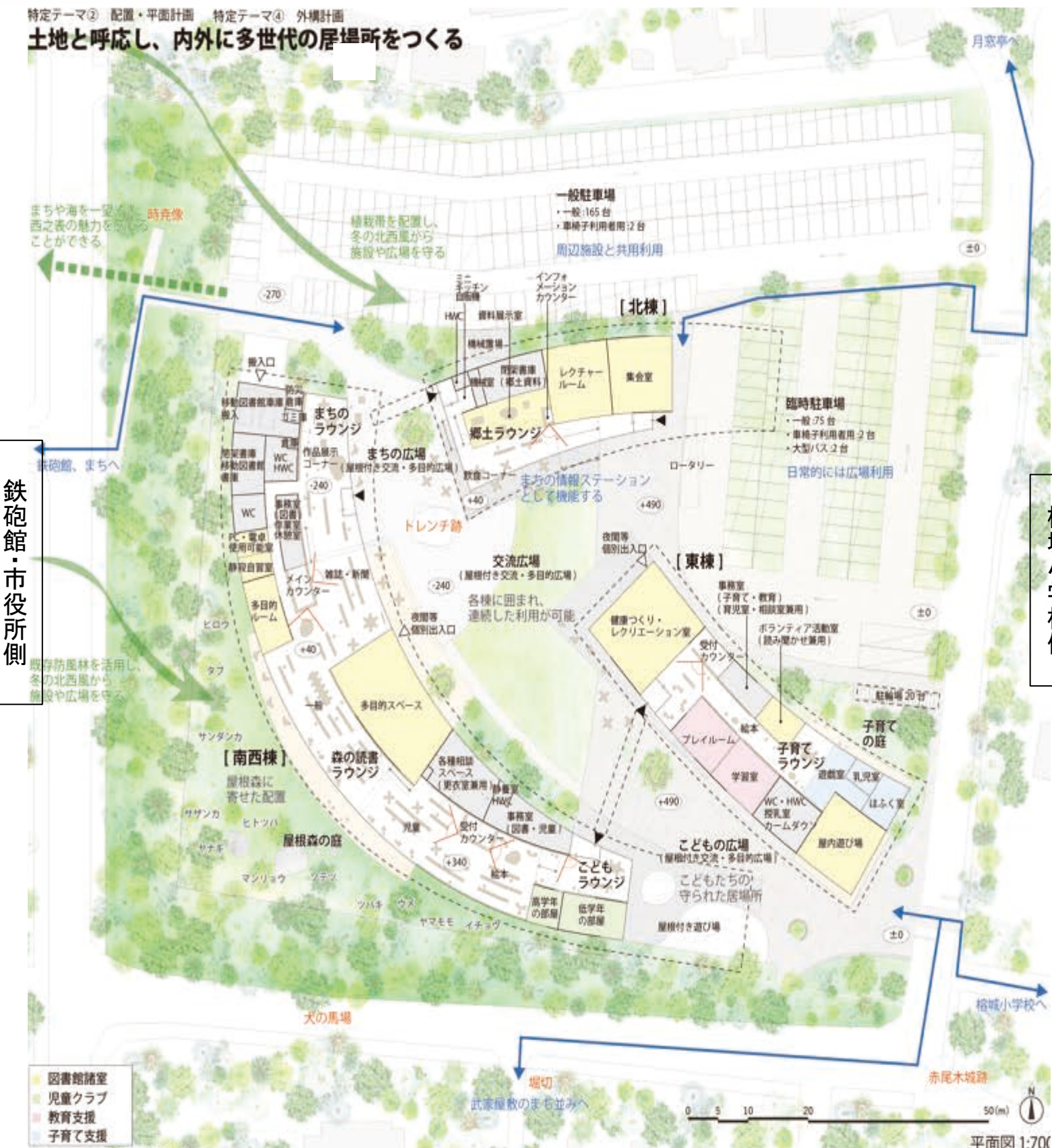


屋根森と深い軒に守られた「縁」のような空間



開かれた縁によって横断的なつながりを生み出す

2. 配置・平面計画



3. 外観・内観イメージ



4. 業務工程

